


# 【現場力向上セミナー】 製造現場におけるヒューマンエラー対策と 実践的技法

～ヒューマンエラーが発生するメカニズムを知り、予防策を身につける～

ヒューマンエラーに起因する製品不良の発生を抑制するためには、製造現場レベルでの対策に加え、従業員一人ひとりの意識の醸成や動機づけ、ヒューマンエラーが発生しない仕組みの構築など、組織としての取り組み方を理解し、実践していくことが重要です。

本研修では、「再発防止」だけでなく、「未然防止」の視点から、不良・手直しの発生要因を元から断つための組織づくりと対処法について講義と演習を通して学んでいただきます。

コース番号	6X005	開催日時	11月20日(月)～21日(火) [2日間] 9:00～15:45		
定員	15名	受講料	10,000円	開催場所	ポリテクカレッジ川内
カリキュラム内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>1. ヒューマンエラーとは</b>            (1)ヒューマンエラーの定義            (2)ヒューマンエラーによる企業損失            (3)ヒューマンエラーの発生要因            (見間違い、勘違い、思い込み)            (4)ヒューマンエラー対策の重要性(指差し呼称)</p> <p><b>2. ヒューマンエラー発生の問題発見</b>            (1)ヒューマンエラーの発生原因を見つける視点            (2)ヒヤリハットによる問題の見つけ方            (3)SHEL(シェル)モデルとインシデントレポートの紹介</p> <p><b>3. ヒューマンエラー防止策</b>            (1)ヒヤリハットを活用したヒューマンエラー防止策の紹介            (2)SHELモデルによるヒューマンエラー防止策の紹介            (3)ヒューマンエラー防止策で有効なQC手法            (連関図法と系統図法の説明)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>4. 【演習】ヒューマンエラー発生要因分析・対策</b>            (1)ヒューマンエラー発生要因分析            (2)ヒューマンエラー防止策提案と実施            (3)連関図と系統図の発表            (4)講評            ※演習テーマ            自職場のヒューマンエラー防止策をSHELモデルで考える</p> <p><b>5. まとめ</b></p> </div> </div> 				
持参品	筆記用具				
講師	株式会社実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典氏				
お問合せ	川内職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ川内) 〒895-0211 鹿児島県薩摩川内市高城町 2526 TEL:0996-22-1558(学務援助課) FAX:0996-22-6612				